



平成 31 年 3 月 29 日

各 位

上場会社名 株式会社トーエネック  
 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 大野 智彦  
 (コード番号 1946)  
 問合せ先責任者 執行役員 経理部長 平野 明人  
 (TEL 052-219-1916)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 31 年 1 月 31 日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正について

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成 31 年 1 月 31 日）	百万円 208,000	百万円 8,000	百万円 7,600	百万円 5,000	円 銭 267.47
今回修正予想（B）	220,000	10,800	10,000	6,600	353.07
増減額（B－A）	12,000	2,800	2,400	1,600	—
増減率（%）	5.8	35.0	31.6	32.0	—
（ご参考）前期実績 （平成 30 年 3 月期）	207,198	9,002	8,918	5,783	309.28

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成 31 年 1 月 31 日）	百万円 188,000	百万円 6,500	百万円 6,100	百万円 4,200	円 銭 224.68
今回修正予想（B）	198,000	9,300	8,500	5,800	310.27
増減額（B－A）	10,000	2,800	2,400	1,600	—
増減率（%）	5.3	43.1	39.3	38.1	—
（ご参考）前期実績 （平成 30 年 3 月期）	188,783	6,975	6,877	4,409	235.82

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

### 業績予想の修正の理由

売上高につきましては、個別業績において、屋内線工事、空調管工事など、一般得意先向け工事の受注高が増加し、当期の完成工事高が増加したことなどから、前回発表予想を上回る見込みであります。利益面につきましては、資材費、外注費等のコストアップや受注価格競争による採算性の低下を懸念しておりましたが、完成工事高の増加や工事粗利益率の改善などにより、各利益とも前回発表予想を上回る見込みであります。

## 2. 配当予想の修正について

### 配当予想の修正内容

	年 間 配 当 金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 31 年 1 月 31 日)	—	円 銭 —	—	円 銭 50 00	円 銭 80 00
今 回 修 正 予 想	—	—	—	75 00	105 00
当 期 実 績	—	30 00	—	—	—
前 期 実 績 (平成 30 年 3 月 期)	—	6 00	—	65 00	—

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。平成30年3月期の年間配当金は、当該株式併合の影響を考慮し、合計は「—」として記載しております。(当該株式併合を踏まえて換算した場合、平成30年3月期の1株当たり年間配当金の合計は95円)

なお、期末配当金については、本年6月開催予定の第101回定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定であります。

### 配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を最重要政策として位置付けており、将来にわたる事業展開のための内部留保の充実などを総合的に勘案し、株主の皆さまには、連結配当性向 30%を目処とする配当を通じて業績に応じた利益還元を行うことを基本としております。

このような方針のもと、当期（平成 31 年 3 月 期）の配当予想につきましては、本日の業績予想の修正を踏まえ、期末配当金を前回予想の 50 円から 25 円引上げ、1 株当たり 75 円に修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上